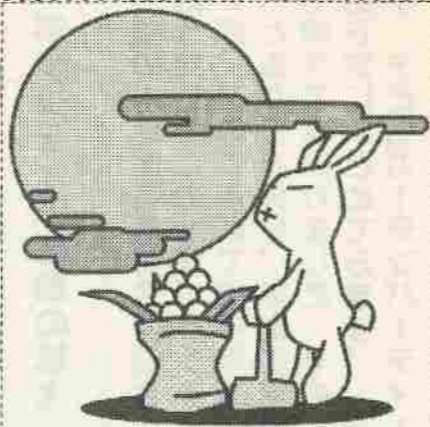


さんぽみち

鶺鴒の木地区地域情報紙
 平成17年10月1日号 第43号
 発行：わがまち大田鶺鴒の木地区推進委員会
 編集：鶺鴒の木地区 地域情報紙編集委員会
 事務局：鶺鴒の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418



大森七中のボランティア活動を紹介します。
 本校は、地域に真に愛される学校を目指して、七中ルネサンス活動を展開しています。
 この七中ルネサンス活動は、大きく二つの柱からなっています。
 一つは、確かな学力の育成です。本校は、大田区教育委員会の研究奨励校として、平成十五年、十六年度の二年間にわたって研究を続けてまいりました。特に、指導方法の改善に関しては、国語、数学、英語の三教科で少人数、習熟度別学習を導入し、理科においてはティーム・ティーチング指導を実施してい

七中ルネサンス活動

大森第七中学校

大森第七中学校では、学業のみならずボランティア活動にも力を入れています。そのボランティア活動への取り組みについて、校長・杉浦克博先生よりご寄稿いただきました。

僕たち
私たち

ボランティア活動しています



ます。そして、他の教科も含め全教科で「確かな学力」の育成に向け、研究授業を重ねてまいりました。研究奨励校の二年間は終了いたしました。まだまだ課題は多く、本年度よりスタートした新たな二年間の教育課題推進校(小中連携)に研究は引き続き行われています。
 七中ルネサンス活動の二番目の柱は、生徒の健全育成です。地域、保護者の皆様の大きな願いは、子どもたちが豊かな人間性、社会性、社会貢献の精神を涵養することであると考えます。その意味で、まず、心身ともに健康な生徒の育成を目指し、部活動にも力を注いでいます。ここ数年、運動部活の躍進がめざましく、都大会への常連となる部も多く現れてきました。また、文化部においても、コンク

ルで入賞するケースも目立って増えてきています。
 このような部活動による健全育成とともに、本校が近年取り組んでいるのは、地域でのボランティア活動の推進です。
 公教育の大きな利点は、学区・地域をもつことです。地域との連携のもとに、生徒に学校内だけでは味わえない様々な体験を積み重ね、豊かな人間性を身につかせようということが、本校の地域ボランティア活動の着眼点です。このボランティア活動の概略を次にご紹介します。
鶺鴒の木地区連合町会 運動会への参加
 従前より本校が行っていた部単位のボランティア活動に加え、一般生徒参加による地域ボランティアを立ち上げたのは平成十五年の秋です。
 本校校庭では、毎年秋、鶺鴒の木地区連合町会運動会が行われているのはご承知のとおりですが、試みに生徒ボランティアを募ったところ、十一名の希望者が集まりました。
 審判や用具等の係の手伝い、演技の補助等を行ったのですが、

鶺鴒の木特別出張所だより

第四十三回 調布地区少年野球大会

八月二十二日(月)から、土・日曜日を除く三日間にわたって、東調布公園グラウンドで行われた調布地区少年野球大会の結果をお知らせします。

【中学校の部】
 ☆優勝・東調布中学校
 ☆準優勝・大森第七中学校

【小学校の部】
 ☆優勝・小池アンタレス
 ☆準優勝・東三スネークス

秋の行事

◆日本赤十字共同募金
 十月一日～三十一日まで行われます。みなさんのあたたかいご協力をお願いします。

◆第十三回連合運動会
 日時・十月二十三日(日)
 場所・大森第七中学校校庭
 スポーツの秋!鶺鴒の木地区の連合運動会です。スポーツを通じて、地域の親睦を深めます。

国勢調査にご協力を!

鶺鴒の木特別出張所所長 中原賢一
 十月一日。五年に一度の全国民対象の最大調査「国勢調査」が一斉に始まります。

この調査結果は都市計画策定などに利用されるほか、次のものに使われます。
 ①少子高齢化に対応する豊かな社会をつくる施策の基礎資料。
 ②住宅の建て方などの調査項目で防災対策のデータ。
 ③様々な行政施策のための将来人口推計、などです。

特に今回は、日本の人口が初めて減少傾向に転ずると見込まれる時期の重要な調査です。つまり、あなたの一人一人の調査が、これからの生活に必要な施策を支えているのです。そして結果は必ずご自分のもとに戻ってきます。なかには、個人情報のことを心配されている方がいらっしゃるかもしれません。しかしご安心ください。調査員など関係者は守秘義務(知りえた個人の情報を守る)があります。また、調査は統計以外の目的には使用できません。調査票は使用後、溶かしてしまわれません。
 この重要な調査はみなさん一人一人との信頼関係で成り立っています。この時期に日本中の人々が調査に関わっています。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

鶺鴒の木特別出張所管内の人口

男	10,705人
女	11,391人
計	22,096人
世帯数	11,275世帯

◇平成17年8月1日現在◇

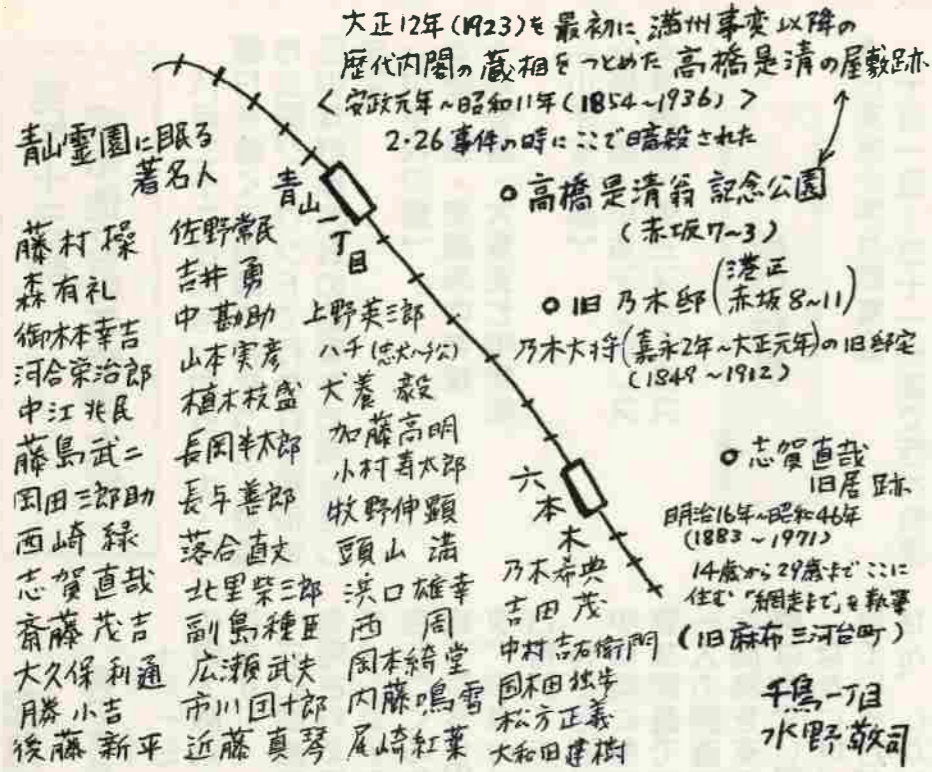
編集後記

大森第七中学校の杉浦校長、松尾副校長両先生、取材にご協力いただきありがとうございます。七中生の学校生活を見守り、心からがんばれと地域から声援を送り、最後まであきらめない根性を期待しております。
 「さんぽみち」は地域の情報紙です。皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。

編集長 池田進太郎
 ☆情報紙に対するご意見・ご感想などを事務局までお寄せください。

【事務局】鶺鴒の木特別出張所
 電話 3750-4241
 FAX 3750-2418

さんぽしてみませんか 都営大江戸線 六本木～青山一丁目



散歩してみませんか

都営地下鉄大江戸線・六本木～青山一丁目

都営大江戸線沿線の名所・旧跡を、手書き地図とともにご紹介いたします。六本木から青山一丁目間の寺院を訪ねるなど、歴史を感じながら散歩してみませんか。

ボランティア活動の拡大

鶺鴒の木地区連合町会運動会に端を発したこの地域ボランティアは、この二年間で様々な場所へと広がりを見せ、参加生徒数も増えてまいりました。その一端を次にまとめてみます。



写真① 連合運動会

① 加する生徒もいました。(写真①)
このような温かい地域の皆様
の歓迎を受け、僅かな生徒から
始まった地域ボランティアでし
たが、今思えば、この鶺鴒の木
区連合町会運動会がその後のボ
ランティア活動の大きな転換点
になったと深く感謝を致して
おります。



写真② 全国鶺鴒の木まつり

- ② での吹奏楽部演奏。一般生徒に
よる青少年イベントの手伝い。
- ③ 青少年対ミニバスケケットボ
ール大会でのバスケケットボー
ルのオフィシャル等の手伝い。
- ④ ライラック祭における吹奏
楽部演奏。
- ⑤ 鶺鴒の木地区一斉清掃への一
般生徒参加。
- ⑥ 全国鶺鴒の木まつりでの吹奏
楽部演奏。一般生徒によるイベ
ントの手伝い。(写真②)
- ⑦ 区総合避難訓練での炊き出
し、簡易トイレ設置等での一般
生徒の手伝い。
- ⑧ 鶺鴒の木地区連合町会運動会
での係・演技補助。
- ⑨ 鶺鴒の木地区高齢者ふれあい
フェスタでの一般生徒による係
補助。

このような地域へのボランティア

短歌

ア活動の拡大に關しましては、
地域の皆様のお引き立てによる
ところが大きく、昨年度、大田
区青少年表彰においてスポーツ
部門に合わせ、模範青少年部門
でも本校がダブル表彰を受けま
したことをこの場をお借りし、
深く感謝を申し上げる次第です。
地域にあることの存在意義、
社会的使命を高い次元で実現し
ていくことが、強く公教育に求
められています。その答えを七
中ルネサンス活動に置き、真に
地域に信頼される学校を目指し、
今後とも邁進していく所存です。

共に歌い共に語りつ野の道を
祖父七歳の孫と並びて

想い出を短歌につづり亡き夫
に声をあげて読むくせとなり
たり

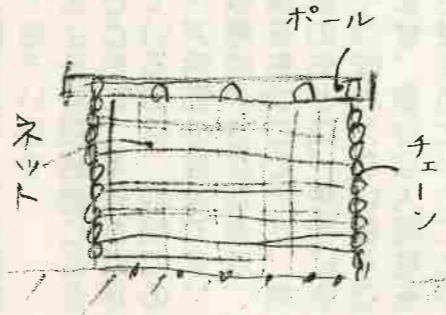
この幸せいつ迄続くかつつが
なき今日の日思い明日の日祈
る

板倉 正子



カラス除けネットの改造

以前に比べカラスは減った
ようだが、いまだゴミ袋を破
り道路に散らかした光景をよ
く見かける。家の前にもゴミ
集積場があり同じ目であった。
そこで隣の人と協力して、ゴ
ミネットの長方形の先の部分
を駐車場の下に結び、両サ
イドの二方にその長さに等し
いチェーンを結び、手前の
長い部分に丸いポールを結わ
いて完成。これによってカラ
スはネットを持ち上げられず、
以後まったく散らかさなくな
った。普段は三叉にポールをか
けておき、見た目もきれいで
す。清掃事務所の方にも評判
は良好。
(久保田 健治)



リレーエッセー

文政十一年(一八二八)の
文書に、「麻布竜土六本木町
と、飯倉六本木町に六本の木
があったが位置は不明」と
あり、六本木の地名の由来は
はつきりしていない。

明治二年(一八六九)に、
麻布六本木町となり、昭和四
十二年(一九六七)の住居表
示で、麻布六本木町をはじめ、
二十もの町各部を合わせ六本
木が誕生した。

ところで、テレビ朝日(六
本木六丁目)の構内の長府毛
利邸跡には、「義士終焉軍神
降世の址」の碑がある。この
長府藩上屋敷で、赤穂浪士の
うち武林唯七、倉橋伝助ら十
人が切腹した。またここは、
乃木希典大将が生まれた地で
もある。
(水野 敬司)

あの年から六十年、一つの区
切りとしての戦争の悲惨さを語り
続けることの大切さを改めて感
じます。話し合うことを止めて
はいけない、ひとたび戦となれ
ば止めるのに理不尽な方法がと
られてしまう。原爆で、無差別
爆撃で、どれだけ尊い命が奪わ
れていったのでしょうか。私た
ちの地域にもあのころの歴史を
物語るものがあります。しかし、
戦争は直接の被災ばかりではあ
りません。食料も乏しく医者も
薬もなく、そのために亡くなっ
た人も多かったことか、私も昭
和二十年、戦争が終わる日の間
に母と妹、そして叔父を亡くし
ました。日航機や洞爺丸、同じ
にはならないことですが、話し
合うことの大切さ、起こしては
ならないことを語りつづけるの
は、あの時代を経験したものの
務めでもあります。豊かさを手
にはした何がかを忘れてきた責
任をもう一度考え、これからの
国を支える子どもたちや若者に、
良い社会は作れるのだと語り続
けたいと思います。
(鶺鴒の木三丁目
町会長 本橋 政昭)

